

八戸市地域おこし協力隊活動状況報告書

八戸市長
熊谷 雄一 殿

隊員氏名 大久保 加名子

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2024年4月分】

1. 実施した活動の概要・状況

ECサイト・ローカルマーケットオンラインショップ運営、農園マルシェ開店準備・企画運営、ラジオ収録、SNSによる広報活動を行った。

(主な活動)

【はちのへ農園マルシェ】4月13日(土)に八戸駅前広場にグランドオープンをした「はちのへ農園マルシェ」の開店準備・企画運営に携わった。「はちのへ農園マルシェ」は、新郷村産の生乳を使用した特濃ソフトクリームに、はちのへエリアの果物や野菜で開発されたトッピングソースを自由に選べる、My オリジナルソフトが楽しめる体験型商品「はちのへ農園ソフトクリーム」を提供するカフェである。はちのへエリアの食材をなんとか有効活用できないかという思いで、商品開発女子部「はちのへポケット」と共同で、ソフトクリームのトッピングソースを開発した。自身は、VISIT はちのへの地域おこし協力隊に任用される以前から「はちのへポケット」のメンバーとして商品開発業務に携わっていた経緯と、前職で販売の経験があることから開店準備・企画運営を担当することとなった。ドリンクメニューや価格の設定、外観やカフェの雰囲気を出すための店内のインテリアや備品選定、レジ業務のフローや接客に関するマニュアルの作成、精算業務に関わる他部署との調整、衛生管理に関する情報収集と各々の書類作成、メニューで必要な資材などの選定や動線を踏まえた上での店頭設置、カフェで働くメンバーの店頭業務・レジ業務の研修実施など、多岐に渡った。店頭業務ではイレギュラーな事態が発生することを想定し対策を提案することや、メニューの盛り付け方やトレイへの並べ方など、誰でも同じ水準でサービスを提供できるように組み立てることを意識した。他部署ではPR・告知、チラシやPOPを作成いただくなど多くの力を借りオープンに至っている。

また、実際に利用されたお客様の声を取り入れながらより良いお店にしていきたい思いもあり、お客様が簡単にご意見・ご感想を入力できるように店内のテーブルにQRコードを設置した。結果、「ソフトクリームとソースがおいしい」というご感想が多く嬉しい限りだが、ありがたいことに「もっとこうしたら」という意見も頂くことができ、改善につながっている。お店づくりは、これで完成・完了ということではなく、お客様のニーズや世間の需要、時代、トレンド、気候・季節などの環境によっても常に変化していかなければならないものだと考えている。さらに「なぜこのお店を選んでいただいたのか」「どのようなことをお客

様は求めているのか」「お客様からはどのようなお店に見えるのか」など気づきを得ることが重要である。私自身を含め店頭に関わるスタッフには、お客様の表情や目線、会話などに常にアンテナを張り、お客様が触れるあらゆるタッチポイント(五感で得る情報)をポジティブなものにし、笑顔で帰っていただけるようなお店づくりを継続して行っていけるよう努めていきたい。



はちのへ農園マルシェの外観



提供している農園ソフトクリーム

2. 翌月の活動予定

EC サイト運営、EC サイトページ作成、カフェ営業補助、SNS 発信、ラジオ収録